

説明図の訂正について

図「地点④・⑤からの高さイメージ」（以下、「説明図」と呼称します。）における現国立競技場のスタンドフェンス頂部までの高さについてお問い合わせがあったことから、説明図の内容を確認するとともに、照明塔高さを含め、有資格者による測量を実施し、その結果を基に説明図を次頁のとおり訂正いたします。

次頁の訂正前の説明図の現国立競技場の高さは、現況復元 CAD の立面図（平成23年作成）に基づいて作成しておりました。高さが赤字部分の通り訂正となった原因は、昭和39年の東京オリンピック開催に向けて作成された「国立競技場増築その他第1回建築工事」設計図面（手書き）の縮小版の縮尺を事実と異なって読み取り、現況復元 CAD の立面図（平成23年作成）が作成されたためです。

今回の訂正の内容

（１）現国立競技場のスタンドの高さ

説明図の現国立競技場のスタンドの高さは、バックスタンドの最上段のフェンス頂部の高さを示しています。測量の結果、フェンス頂部の高さは TP+59.76m*でした。説明図では、TP+32m からの高さを示しておりますので、「約 31m」と記載していた現国立競技場のスタンドの高さは、正しくは「27.76m (=TP+59.76m - TP+32m)」となります。

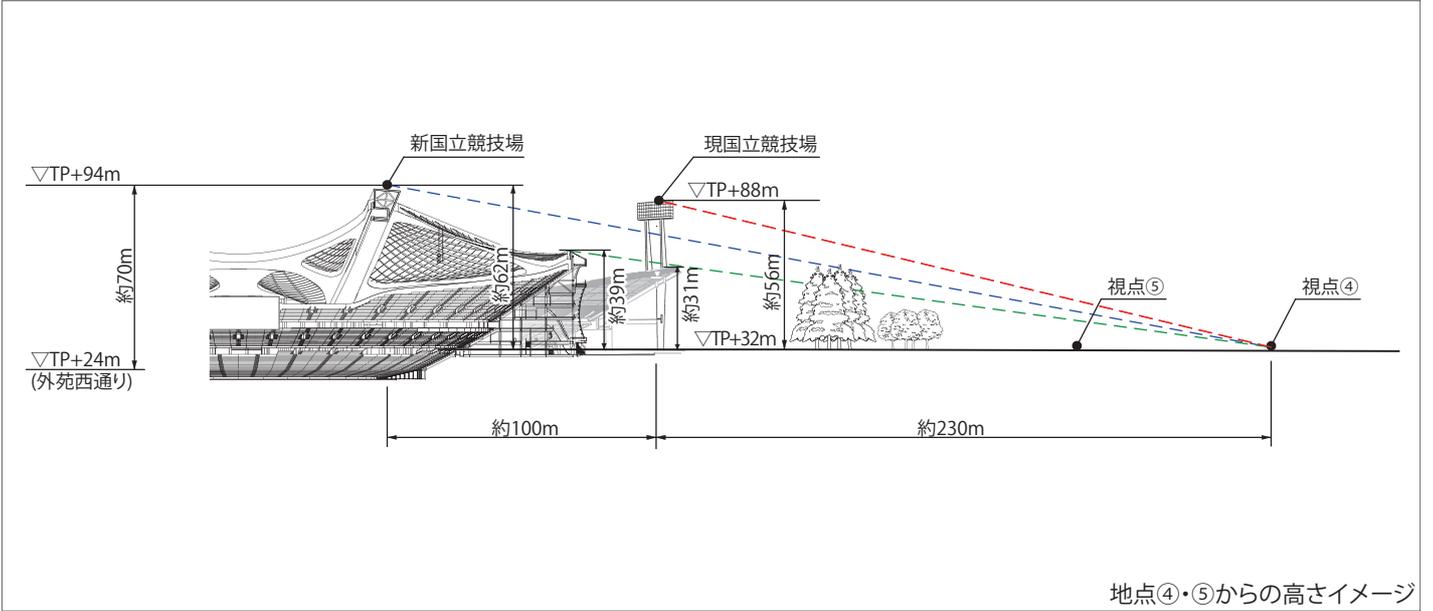
* TP (Tokyo Peil) : 東京湾平均海面のこと。TP+32m とは東京湾平均海面から 32m の高さであることを表します。

（２）現国立競技場の照明塔の高さ

説明図の現国立競技場の照明塔の高さは、バックスタンド側にある4つの照明塔のうち、北側から2つ目の照明塔の高さを示しています。測量の結果、照明塔の高さは TP+84.32m でした。そのため、説明図に示す TP+32m からの高さを「約 56m」と記載しておりましたが、正しくは「52.32m (=TP+84.32m - TP+32m)」となります。また、説明図の照明器具の大きさも、実際の大きさとは異なっていたため、併せて訂正いたします。

なお、「周辺からの景観モニタージュ」については、作成するに当たって、東京都知事の承認を受けた 1/2500 の市販白地図データから写真の撮影地点・方向を設定し、この設定に基づき、計画建物の3次元モデルを使って撮影地点から見える計画建物のCGを作成しております。景観モニタージュは、透視図法により割り出した写真上の目線の高さと同様の高さを重ね合わせて作成していることから、説明図の訂正による景観モニタージュへの影響はございません。

訂正前



訂正後

